

おれんじの屋根

施設長より

「5年ぶりのしょうぶの里まつり」

6月1日(土)に、しょうぶの里まつりを5年ぶりに開催しました。当日は、天気にも恵まれて、利用者さんご家族、地域の方、他の施設の利用者さんたち、しょうぶの里や利用者さんに関わりのある方など、多くの方々にお出でいただきました。

利用者さんにとっては、この4年間、コロナ禍で外に出ることもままならない、そして、ご家族ともなかなか会えないつらい時期が予想以上に長く続きました。なので、ご家族や親さんとも会えて、さぞかし嬉しかったことでしょう。また、歴代の施設長さん、そして、育成会の前会長さんなど、懐かしいの方々にもお会いできました。最高齢の女性の利用者さんは、「会えてよかった、なつかしくてとても嬉しかった。」と話されていました。他にも、元の担任の先生などもお出でになり、旧交を温める場面も。

私は、地域の方にもたくさんお出でいただき、ふれ合うことができて本当によかったと思っています。コロナ禍の中、地域の方とのふれあいもほぼ途絶えてしまっていました。朝のウォーキングや夕方の散歩ですれ違う地域の方とのあいさつや世間話が、利用者さんや私たち職員にとってとても大切なのだということがよく分かった4年間でもありました。一方、地域の方々も少しずつ入れ替わっているでしょうから、地域に障がいのある人が暮らす施設があるの知らない、あるいは知ってはいるが中に入ったことはない、どんな人がいてどんな生活をしているか知らないという方も多いと思います。交流及び共同学習をしていた学校も、児童生徒はもちろん、先生方の入れ替わりもあっています。

まつりは、地域の方々に気軽に施設に入っていただく格好の機会。その機会を活かし、地域の方にしょうぶの里を知っていただく、地域の方と親しくなる、そういう関係を再度つくりあげていきたいと思った、今回のまつりでした。

今年の開催(再開)を契機に、再び“地域のお祭り”の一つとして根付き、地域の方やたくさんの方々ともふれ合える機会にできたらと思っています。

内輪の話になりますが、今回のまつりでは、当日の運営に事務局と「手と手」の職員の協力があり、ステージでは、子ども育ちの家「て・い・く」の子どもたちのダンスパフォーマンス、第二ぎんなん作業所所長の三線の演奏と、育成会のすべての事業所が何らかのかたちで関わることができました。一事業所にとどまらず、法人全体のおまつりになり、法人としてのまとまりや一体感が出たこともとてもよかったと思っています。

ステージ出演をはじめ、物品借用やボランティアなどでも多くの方々にご協力、ご支援をいただいています。本当にありがとうございます。

しょうぶの里にお出でいただいた方々、こころよく応援やご支援をいただいた方々に、心より感謝を申し上げます。



書き遊ぶ

「時代考証」

ゆうゆう会会長の瀬上です。

藤崎宮秋の例大祭は昔『ボシタ祭り』とか『随兵』と呼ばれていました。加藤清正が戦で亡くなった家臣を弔うために放生会に家来を連れて参加したのが起源と伝えられています。放生会では殺生を戒め鳥を空へ放つのです。

ではどうしてその時大声で「亡ぼした!」と叫んだのでしょうか。

実際退散しているのですそれは嘘と皆知っています。それをあえて叫ぶからには相手あってのことはずです。いったいどの誰に向かって大声で叫んだのでしょうか。答えは一つ、空でさまよう異国で亡くなった仲間の魂に成仏してくれと叫んだのだと思います。

今は名称も掛け声も変わり、由来がいつの間にかわからなくなってしまいました。

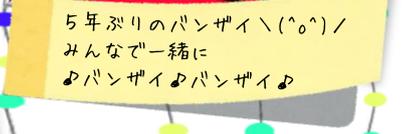
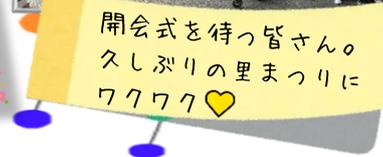


第19回 しょうぶの里まつり

第19回しょうぶの里まつりが5年ぶりに開催しました。久しぶりの《里まつり》で準備中も「これはどうしてたっけ？」など職員も戸惑うことが多々ありました。

まつり当日は天気にも恵まれ、300人以上の方々にお越しいただき盛会のうちに終わることができました。

ステージ出演にご協力いただいた方、キッチンカーでの販売、クッキー・パウンドケーキの販売にご協力いただいた方、そしてたくさんの地域の方々、来賓の方々に足を運んでいただき感謝申し上げます。



抽選会の模様です。特賞は1万円のお食事券の行方は・・・(' 艸 '*)

5年ぶりのバンザイ＼(^o^)/ みんなで一緒に♪バンザイ♪バンザイ♪

バンザイダンスの登場～！！

開会式を待つ皆さんの久しぶりの里まつりにワクワク♡

給食室より

7月 イベントメニュー

5日(金) セタまつり＆セタそうめん
12日(金) 誕生会
19日(金) リクエストメニュー
31日(水) 手作りおやつ

食べたものはきちんと消化できてはじめて栄養素として吸収できます。その消化の準備が《咀嚼》。その後、胃や腸で消化し、吸収される流れです。

胃腸の消化力は万能ではないし、人によっては消化力が低下していることもあるので、消化できなかったものはそのまま吸収されずに排泄されます。しっかり噛むと胃腸の負担も軽減でき、消化不良も減ります。

一口30回噛もう！と言われるのはこんな理由があるのです。

管理栄養士 厚地

医務室より

紫外線対策について ~その2~

前月号に引き続き、今月も紫外線対策についてのご紹介です。

②紫外線対策グッズを活用しましょう
・・・素肌を露出させないようにしましょう。日傘、帽子、サンバイザー・長袖・アームカバー・ストール・フェイスカバー・サングラスなど日差しの強いときは特に熱中症の予防も兼ねて対策が重要です。最近では男性も使いやすいデザインの日傘も増えています。使いやすいアイテムや気軽に使用できるものを選びましょう。

③もしも日焼けしてしまったら・・・
肌が赤くなり熱を持っているときは冷水や保冷剤を包んだタオルなどで優しく冷やしましょう。保湿するときは低刺激のものを避け、手のひらで優しく包み込むようにしましょう。ビタミンC・Eを積極的に摂り、肌の修復を助けましょう。冷却や保湿をしてもなかなか赤み・ヒリヒリが治まらない場合や、水膨れになったりした場合などは、早めに皮膚科を受診し専門医に診てもらいましょう。

看護師 宮村

《7月の行事予定》

☆ 1日(月)	訪問リハビリ
☆ 2日(火)	口腔ケア 健康診断
☆ 4日(木)	訪問歯科
☆ 5日(金)	セタまつり＆セタそうめん
☆ 8日(月)	職員研修会 訪問リハビリ
☆ 9日(火)	ミールラウンド お話し会
☆ 11日(木)	訪問歯科
☆ 12日(金)	誕生会
☆ 15日(月)	海の日
☆ 16日(火)	口腔ケア
☆ 18日(木)	訪問歯科
☆ 23日(水)	ミールラウンド
☆ 24日(火)	訪問散髪
☆ 25日(木)	訪問歯科
☆ 29日(月)	訪問リハビリ 職員会議
☆ 30日(火)	口腔ケア

※予定ですので変更になることがあります。ご了承ください。

～編集後記～

熊本も6月19日にやっと梅雨入りしたとのこと。平年より13日遅い梅雨入りだそうです。熊本の梅雨の時期はメタメタと湿度が高く不快指数MAX...しかしこの雨がなければ作物が育たない...が、梅雨明けはいつなのかなあと勝手な思いを馳せてます。

先日、あるアイドル主催の花火大会に行ってきました。間近で見ると花火の迫力に感動！花火大会も終わりやめ予約していたホテルに行こうとしたら大渋滞に巻き込まれ最終電車にも乗れず、いわゆる『帰宅難民』となり、24時間営業のファミレスで一晩を明かすことに...翌日のニュースで『帰宅難民』が1,000人以上いたとのこと！この年齢で初めての経験でした。今となっては楽しい思い出です。

～第86号～
令和6年6月25日発行
発行元 しょうぶの里
熊本市西区小島9丁目14-58
TEL (096) 311-4588

